

水源の里だより

地域を元気にするために!!
 隊員ユニット「伊吹の天窓」始動!!



写真上▼伊吹の天窓の2人 右▼昨年イベントの様子 左▼切り絵のポストカード



《水源の里振興室から》

みらいつくり隊員は、それぞれのみらい、そして地域のみらいのために活動していますが、その中で隊員同志の絆が生んだ新たな取り組みが動き始めています。
 今回は甲津原、曲谷に移り住んだ2人の隊員により結成されたユニット「伊吹の天窓」について、その経緯や活動などについてお話を伺いました。

伊吹の天窓」ユニット

結成のきっかけ



「里おこしイベントは今年もやります」と舟橋隊員（甲津原在住）

結成のきっかけは、昨年7月に甲津原の行徳寺で開催し、大成功した里おこしイベント「伊吹の天窓」にまつわるやりとりだったと教えてくれた舟橋麻里さん。

このイベントで披露された早川鉄平さんの切り絵は、当初は小規模なものになるはずだったものが、紆余曲折を経てイベントの中核を担うことに。早川さんは舟橋さんからの依頼に戸惑いながらも、「せっかくなら、とことんやりたい」との熱い思いで切り絵を完成させたそうです。

そして当日、この切り絵は大きな反響を呼び、早川さんにとっては、切り絵作家としての活動の幅が広がるイベントとなりました。

このイベントの主催をひとりで行っていた舟橋さんもやり終えた達成感を感じていました。しかし、イベント後の反響や期待の大きさと、主催をやり抜くことへの不安が重なり、今後のイベント活動に対して前向きになれない時期があつたそうです。

そんな舟橋さんの状況を知った早川さんは、今後の協力を約束。これがかきつけとなつて、イベント開催のみならず、切り絵や商品の販売についても「伊吹の天窓」というユニット名で、共同で活動することになったそうです。



「障子の切り絵は初めてでした」と語る早川隊員（曲谷在住）

ユニットのこだわり

都会のいいところと地元の良いところを活かし、「ここだからできる」イベントや商品を世に送り出したいと考えている早川さんと舟橋さん。
現在は、これまでの二人の活動に加え、甲津原と曲谷のお米の販売を協力して行っているそうです。

お米を販売することになったきっかけは、地域のお米の「おいしさ」に感動したことがきっかけ。都会で住んでいた頃は安いお米ばかり求めていたという早川さんは、
「琵琶湖の水源となっているこの清らかな水、そしてこの伊吹の土で生産するおいしいお米にも関わらず、生産者の努力やお米の魅力が反映できず、安く販売されてしまっている。」

移住して初めての冬について

早川さん
「家が高台にあるので、降雪後の早朝は雪の階段を作る必要があります。雪の量には驚きますが、ご近所の方が登りやすい階段を追求しつつ創作できるので、そんな日はごわくわくします」
舟橋さん
「雪かきは初めての体験で大変です。ただ、雪を踏み固めて道を作る作業は楽しみながらやっているので、苦労はそんなに感じませんよ」



地域の農業を元気にするためにも、新たな切り口でこのお米の価値を高めながら、地域の魅力を発信したい。そうすれば若い世代の方にも農業、そして地域に関心を持ってもらうことができるのでは」と熱く語っておられました。

この地域を元気にするには
農業が元気になること



販売する甲津原、曲谷のお米

今後の活動について

「お米や切り絵関連グッズなどを『伊吹の天窓』ブランドとして、大阪や京都などでその販路を確立していきます。そして商品を通して都市部の方とこの地域のつながりを作っていきたいですね」と語る早川さん。
また、2人で販売するだけではなく、商品や地域の魅力をもっと発信してもらえる協力者も増やしていきたいと考えているそうです。

2月16日現在、京都の「めふくカフェ」では、米原の商品が常設されています。京都に立ち寄られた際は、都会で光る米原の魅力を実際に感じられてはいかがでしょうか。
めふくカフェ住所▼京都市上京区榎木町通大宮西入一丁目

2月16日現在、京都の「めふくカフェ」では、米原の商品が常設されています。京都に立ち寄られた際は、都会で光る米原の魅力を実際に感じられてはいかがでしょうか。
めふくカフェ住所▼京都市上京区榎木町通大宮西入一丁目

そして、早川さんの切り絵活動については、左記の地域イベントのほか、4月2日〜7日には東京銀座での展示会なども予定されています。
最後にもうひとつ。大成功した「伊吹の天窓」は今年も実施されるようです。本当に楽しみです。

みらいつくり隊員として4月から新たに3人が加わります。今まで以上に地域を元気にする取り組みをやっていきますので、今後も応援お願いします。



昨年の様子



舟橋さんについてお話をお伺いした白鶴祥子さん。

「近所の方にとっての みらいつくり隊員 舟橋さん

・地域がにぎやかになった
・自分の子どもとも年代が近く、娘がいるような感覚で、いてくれるとうれしい
など、舟橋さんの存在が地域の元気づくりの一翼を担っていることが感じられました。

「伊吹の天窓」早川鉄兵さんは18日に登場！

—早春の妖精「セツブンソウ」が
春の訪れを伝える—

第3回セツブンソウ ふれあい祭り

日時▶3月17日(土) 13時~16時
18日(日) 9時~15時

場所▶大久保地区

内容▼

【両日随時開催】

あったかスープカレー・地場産マーケット
フォトコンテスト・セツブンソウ写真展

【3月17日】

もちつき(14時~)

ふれあい祭りの夕べ(16時30分~18時30分)

○講演「大久保周辺の野草について」

畑野 秀樹氏(ケアセンターいぶぎ 所長)

○コンサート「ボーカルグループしいずん」

【3月18日】

親子切り絵教室

「大久保の自然」(9時30分~)

講師 早川 鉄兵さん

こども餅つき大会(11時~)

餅つき(14時~)

ウェブサイト <http://setsubunso.jp/>

問 伊吹自治振興課 ☎ 58-2221 FAX 58-1630

お問い合わせ 水源の里振興室 (伊吹庁舎)
☎58-1121 ☎58-1630